

循環器専門医研修ネットワークプログラム

1 緒言

循環器疾患の診断および治療手段は最近 20 年で大きく変化しました。高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病から急性心筋梗塞、大動脈解離、肺血栓塞栓症などの急性疾患まで、循環器科が対応しなければならない疾患の範囲は広く、学ばなければならない事は多岐にわたります。急性疾患においては、治療によって患者さんの状態が短時間で劇的に改善し、心から患者さんに喜んで頂ける体験は循環器科の医師ならば一度は経験したことがありますが、この魅力は経験しなければ分かりません。また、聴診を主とした身体所見の取り方や心電図診断は、内科診療の基本となる診断技術であり、是非身につけたい技術の一つではないかと思えます。本プログラムは、総合内科専門医および循環器専門医の資格取得だけでなく、個人の要望に沿った様々なキャリアパスを提示できるプログラムとなっています。臨床および教育経験豊富な医師が実臨床だけではなく、学会および論文発表に至るまで細かい指導を行います。循環器科を少しでも専門的に勉強したいと考えている先生は、是非本プログラムの参加をご検討下さい。

プログラムリーダー 浜松医科大学医学部 内科学第三講座 教授 前川 裕一郎

2 プログラムの目的

- (1) 本プログラムは卒後 3 年目以降の後期研修で循環器専門医を目指す医師を対象とする。平成 30 年度から開始される内科専門医取得に必要な研修を行いながら、subspecialty としての循環器診療に必要な幅広い知識と経験の習得を目指す。
- (2) プログラム開始から 1 - 2 年目までに内科専門医取得に必要な病歴要約を完成させ、プログラム終了時には内科専門医試験を受験できるようにすることを旨とする。
- (3) プログラム終了後速やかに循環器専門医取得できるよう、subspecialty 研修では「循環器専門医研修カリキュラム・2013」に沿った研修を行う。
- (4) 循環器専門医として必要な専門知識や心臓血管外科との連携を学び、臨床的・基礎的な研究の一步を踏み出す。

3 プログラムの内容

- 1) 日本循環器学会認定の「循環器専門医研修カリキュラム」を充足する研修を行う。
 - ① 研修カリキュラムの下記 10 疾患の検査や治療の「施行又は判断」ができる。
心不全 不整脈 血圧異常 虚血性心疾患 弁膜疾患 心筋疾患
感染性心内膜炎 肺性心疾患 先天性心血管疾患 大動脈疾患
 - ② 心臓超音波検査、核医学検査（心筋シンチ）、心臓 CT 検査、心臓 MRI 検査を担当する。
 - ③ 心臓カテーテル検査の助手と術者（200 例以上）を担当する。

- ④ 冠動脈インターベンション治療の助手と術者（心カテ経験による）を担当する。
 - ⑤ 不整脈のアブレーション治療および植え込み型ペースメーカー、除細動器、心臓再同期療法の助手と術者（経験による）を担当する。
 - ⑥ 大動脈内バルーンパンピング挿入、一時的ペースメーカー植え込み、心嚢穿刺を習得する。
 - ⑦ 学会発表を年1題以上行う（症例報告を含む）。
- 2) 「AHA・BLS ヘルスケアプロバイダーコース」「AHA・ACLS プロバイダーコース」を受講する。
 - 3) 症例検討会、病棟カンファレンスでの発表や進行役を務め、積極的に討論に参加する。

4 プログラムの特徴

- ・循環器専門医による定期的な教育セミナー（年2回を予定）
- ・研修医などによる症例発表会と臨床研究の検討会
- ・動物およびスキルスラボを用いたカテーテル手技研修会への参加
- ・各病院および浜松医科大学における症例検討会（CPCを含む）および論文抄読会
- ・日本循環器学会（総会、地方会）への出席と教育セミナーへの参加（単位認定）
- ・日本循環器学会関連学会への参加（単位認定）
- ・医師会および研究会が主催する著名講師による講演会への出席
- ・AHA、ACC、ESCなど国際学会への参加

5 循環器内科連携施設

聖隷浜松病院

聖隷三方原病院

磐田市立総合病院

県西部浜松医療センター

浜松赤十字病院

JA 静岡厚生連遠州病院

静岡市立病院

富士宮市立病院

菊川市立総合病院

市立湖西病院

6 問い合わせ

浜松医科大学内科学第三講座循環器科 代表 前川裕一郎

〒431-3192 浜松市東区半田山1-20-1

TEL : 053-435-2267、FAX: 053-434-2910

Mail: ymaekawa@hama-med.ac.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/hamamatsu.univ.cardiology/>